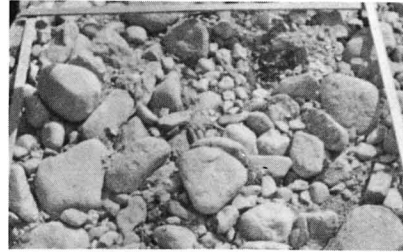
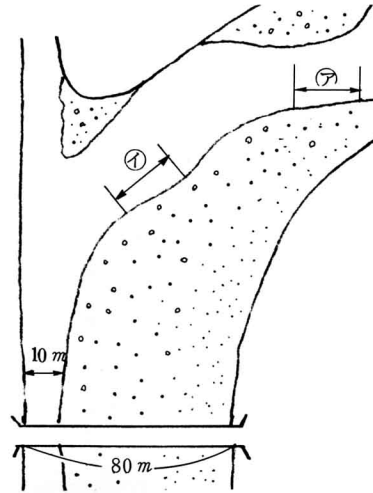


- ② 流れの曲がっている付近で川原は外側にできているか、内側にできているか。
- (3) 川原において流水のはたらきを調べる。
- ① ①の付近で20mの長さを取り流水の速さを測る。
- ② ②の付近で川原の近くと、離れたところで流水の速さを測って比較してみる。
- ③ 川原から向い岸に進むにつれ、深さはどう変わるか。
- ④ 水中のぞき箱で、川底にもっている砂、レキを観察する。川原から離れるにつれ、どう変わるか。
- ⑤ 水中のぞき箱で砂が流されている様子を観察する。
- (4) 川原のレキを調べる。



- 川原のレキや、砂のつもり方や、集まり方が平均的である場所を選び、その場所を1m四方の方形枠で囲う。
- ① レキの大ききで分ける。
- 方形枠に入っている長径5cm以上のレキのすべてをビニルシートに取り出し(表面に見えるレキのみ)大ききによって5~10cm, 10~15cm, 15~20cm, 20~25cm, 25~30cm以上に分け、その数を調べる。
- ② レキの形で分ける。
- レキの形で、まるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。
- ③ 川原のレキの多くは花崗岩、緑色片岩、硬砂岩類で、これらの硬い岩石は、阿武隈山地の東縁部に分布しています。これらの岩石は、流水のはたらきで運ばれてきたものです。